



令和8年1月9日

心が変われば、運命が変わる

I. 進路指導部より

明けまして、おめでとうございます。本年も宜しくお願ひ致します。本年が、生徒諸君にとって、飛躍の年になることを心から願っております。

冬季休業は、約二週間という短い期間でしたが、有意義な休みになったでしょうか。二学期末の終業式で、校長先生から「一年の計は元旦にあり」というお話がありました。皆さんは、実行できたでしょうか。一年、二年、三年、、十年、、三十年先まで見通した計画（ライフプラン）を立てることができた生徒は、毎日の過ごし方が大きく変わってくると思います。自分の遠い将来を真剣に考えると、現在の自分の行いを修正せざるを得なくなります。そして、意を決してすぐ行動すると、気持ちが前向きになり、希望に満ち溢れてきます。皆さんの行動の変化に期待します。

それから、始業式で話をした青山学院大学の五区を走った黒田選手は、腕に時計をせずに走ります。それは、時計を見てしまうと、自分の走行タイムを気にてしまい、自分の限界を超えないからだそうです。対して、同じ五区を走った早稲田大学の工藤選手は、頻繁に時計を見て、自分のペースを守ります。自分のペースを守らないと、目標タイムで走れないからだそうです。皆さんは、どちらが正解だと思いますか？

私は、両方とも正解だと思います。それは、黒田選手は、襷を受け取った時点で先頭とのタイム差が大きく、工藤選手は、先頭とのタイム差が小さかったからです。その違いがあったからこそ、両方とも正しいと言えます。

皆さんも、自分の目標と現状の差を確認して、その差を埋める工夫をして下さい。例えば、高校生の学習時間は、学年 + 1 時間が平均値ですが、目標との学力差があるのであれば、増やす工夫をして欲しいと思います。

稀に、現状との差を知ると、やる気を失ってしまう生徒がいます。生き方や考え方、人それぞれですが、やらなければならないことを避けて通ることはできません。高校卒業と同時に、それぞれの生徒が異なる進路に進むことになります。高校生活の中で自らの進路の方向性を定め、失ったやる気を取り戻し、前に進む強い気持ちを持って欲しいと思います。大きな課題が克服できると、次の課題はそれほど苦労することなく乗り越えることができます。それは、課題を克服する度に自信が付くからです。

II. 受験勉強は足し算

どの教科から取り組めばいいのか分からない生徒は、「苦手科目の克服よりも、得意科目を増やす」ことに取り組んでください。合否は、合計点で決まります。非常に簡潔です。科目の難易度は関係ありません。例えば、理科1科目が必須の場合、物理や化学、生物で受験するのか、基礎科目2つで受験するのか、単純に高得点が取れるもので受験することが最も重要です。大学入学後に必要な知識として、物理や化学、生物を学習することは必要ですが、受験は、高得点を取れた方が有利になるので、必ずしも履修科目=受験科目で無くても構いません。実際に、私の子ども達は、二人とも理系でしたが、地歴公民科目で履修していた地理では無く、娘は世界史、息子は現代社会で受験しました。

ただし、「得意科目を増やす」ことは、あくまでも受験勉強のスタート時点であって、ある程度の得点が取れる状態になったら、苦手科目や苦手分野の克服に取り組んでください。入試問題の中に苦手分野が出題されてしまうと、絶望的な状況になってしまいます。苦手科目の学習には、ぜひスタディサプリを活用してください。本校の生徒は、全員使用できる契約を結んでいます。来年度以降も継続する予定です。本校では、欠席等で聞き漏らした授業内容を聞いたり、苦手分野を繰り返し視聴したりしている生徒がいるようです。さらに、出演していた講師に傾倒し、その先生が出版している参考書を購入して勉強する生徒もいます。

III. 素直に実行できる生徒は伸びる

どの学年にも、高校入学後から飛躍的に成績が向上している生徒がいます。そのような生徒の共通の特徴として、「先生方からのアドバイスを素直に実行している」ことが挙げられます。

二学期末の終業式で、英検の問題集の貸し出しについて話をしました。その後、すぐに進路指導室まで問題集を借りに来た生徒がいました。そのような生徒は、今後の向上が期待できます。

また、二者面談等で担任の先生から受けたアドバイスは、ぜひ実行してください。担任の先生は、皆さんに期待しているからこそ、細かくアドバイスをしてくれます。仮に、実行してみて、上手くいかなかった場合や、自分の方向性を見失ってしまった場合は、進路指導室に相談に来てください。

大学進学した後とか、就職した後とか、退職した後とか、そういう節目の所で、自分の人生に後悔して欲しくありません。

今回は、裏面に私立大学の情報を掲載しますので、参考にして下さい。